

公共交通機関のリアルタイム混雑情報提供システムの

導入・普及に向けたあり方についての検討会

設置趣旨

○公共交通機関の混雑緩和・利用分散により、公共交通あんしん利用と感染拡大予防の両立を図る観点から、スマートフォンアプリ等を活用した、公共交通機関における混雑緩和・利用分散のためのリアルタイム混雑情報提供について、システムのモデル構築、混雑情報の表示の標準化、データ活用のあり方等について有識者、関係事業者等において検討を行い、導入・普及促進に向けたガイドラインを策定予定

〈検討項目案〉

- ・混雑状況の把握やリアルタイム情報提供のシステムについて
- ・混雑情報の表示の標準化について
- ・取得した画像データ等の取扱いについて
- ・混雑状況データの利活用のあり方について
- ・導入、普及促進に向けた取組について 等

メンバー

【有識者】

- 石田 東生 筑波大学 特命教授(座長)
- 落合 孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士
- 越塚 登 東京大学大学院情報学環 学環長・教授
- 坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事
- 須田 義大 東京大学生産技術研究所 教授
- 田丸 健三郎 一般社団法人AIデータ活用コンソーシアム 理事・副会長
- 日高 洋祐 一般社団法人JCoMaaS 事務局長

【オブザーバー】

- 〈バス〉公益社団法人日本バス協会、バス事業者数社
- 〈経路検索〉株式会社ヴァル研究所、株式会社駅探、ジョルダン株式会社、株式会社ナビタイムジャパン
- 〈システム〉株式会社Will Smart、NECネクサスソリューションズ株式会社、技研トラステム株式会社、BOLDLY株式会社、モバイルクリエイト株式会社、ヤフー株式会社、株式会社両備システムズ、レシップ株式会社

スケジュール(予定)

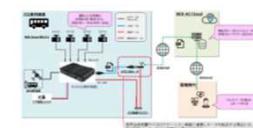
- 第1回: 令和2年7月7日
- 第2回: 令和2年7月30日
- 以降、夏～秋頃にガイドライン策定(予定)

(システム例)

- ・リアルタイムのカメラ画像データ、人数カウント



- ・AIによる分析、クラウドによる情報提供



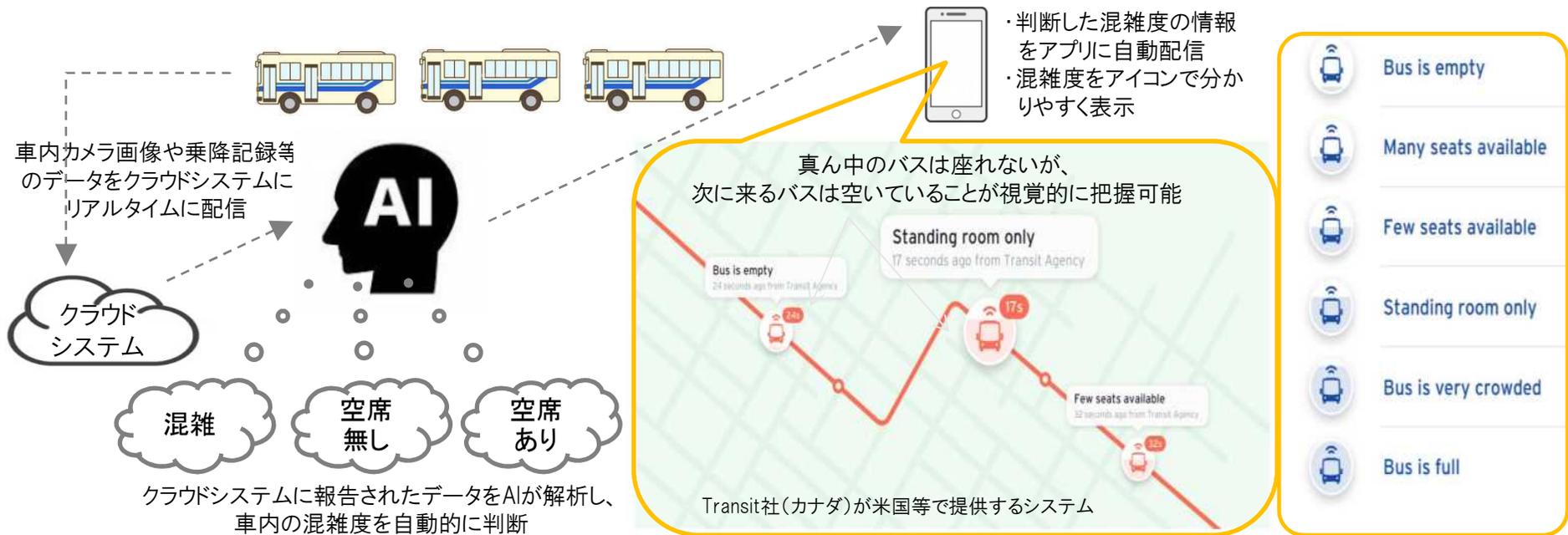
- ・リアルタイム混雑情報のアプリ等への表示



株式会社Will Smart 資料より

システムイメージ

「新しい生活様式」に対応し、感染を防止するため、公共交通機関の混雑緩和・利用分散を図ることが必要
 → 空いている車両を選んで利用することが出来るよう、車内の混雑具合に関するリアルタイムの情報をアプリ等で提供



対象経費項目

・リアルタイムの混雑情報を提供するシステムの導入に要する経費等

「新たな生活様式」に対応した、感染防止との両立した公共交通機関による安心な移動を確保